



第391号

2019年 6月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

6月23日 聖ペトロ使徒座への献金日 教皇は毎年世界各地を訪問します。人々の苦しみや悩みを聞き、優しい笑顔で力づけ数々の援助を与えます。私たちが世界中の苦しんでいる人々のために祈りと献金を捧げます。

7月1日 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者(記念)

教区ホームページ 福音のひびき 6月の説教者 2日 主の昇天 ペラルタ・アンヘル(三河カトリックセンター) 9日 聖霊降臨の主日 モルク・フランシス・アジ(南山教会) 16日 三位一体の主日 長谷川潤(富山地区) 23日 キリストの聖体 古川利雅(日比野・八熊教会) 30日 年間第13主日 大海明敏(五反城教会)

名古屋教区公式巡礼

山口・津和野・萩巡礼

乙女峠まつり参列の旅



津和野の証し人列聖調査開始宣言ミサで主司式をする前田万葉枢機卿と司教団

ザインの記念聖堂について詳細な説明後記念館を案内。ここには、ザビエルの生書簡やザビエルの宣教の様子を描いた屏風、キリシタンの墓石などが展示してあった。 巡礼初日の感想を自己紹介も兼ねて、分かち合いながら宿泊先へ。 《2日目》「第68回乙女峠まつり」に参加。津和野教会前広場で前田万葉枢機卿(大阪大司教区)の開始の言葉に続き、津和野町長や白浜満司教(広島司教区)の歓迎のあいさつに続き快晴の空のもと、津和野教会から乙女峠マリア聖堂まで40分ほどかけて、ロザリオの祈りを唱えたり聖歌を歌ったりして聖母行列をした。 乙女峠マリア聖堂到着後、37人の殉教者の列聖を祈願して「津和野の証し人の列聖調査開始宣言ミサ」が行われた。前田万葉枢機卿が主司式、教皇庁大使代理参事官のヴェネチエスラ・トゥミル神父列席のもと、8人の司教と40人の司祭の共同司式。主催はカトリック津和野教会(主任・山根敏身神父)。広島教区をはじめ、長崎、大阪、京都、名古屋など全国から約1800人が参列した。 幕末から明治新政府のもとで起こった「浦上四番崩れ」と言われるキリシタン弾圧で、長崎浦上のキリシタンおおよそ3400人が、鹿児島、萩、名古屋、金沢など22か所に配流された。津和野に連れてこられたのは153人。津和野藩は神道教化でキリシタンの改宗を図ったが思うようにいかず、三尺竿や氷責めなどの拷問に方針を変えた。 その結果、1歳から71歳まで37人が命を落とし、乙女峠の道行1留(とび)にビンイ袋の運び人を替えて唱えた。 ミサ後、名古屋教区巡礼団は帰りの山道で「十字架の道行」を行った。 松浦司教の発案で、皆の弁当ゴミを集めたビンイ袋を十字架に見立て、足場の悪い道を、十字架の道行1留(とび)にビンイ袋の運び人を替えて唱えた。 ミサ後、名古屋教区巡礼団は帰りの山道で「十字架の道行」を行った。 松浦司教の発案で、皆の弁当ゴミを集めたビンイ袋を十字架に見立て、足場の悪い道を、十字架の道行1留(とび)にビンイ袋の運び人を替えて唱えた。

名古屋教区公式巡礼、山口・津和野・萩巡礼が5月2日から4日まで2泊3日で行われた。松浦悟郎司教と浅井太郎神父(殉教者顕彰委員長・一宮教会主任司祭)同行のもと、東京、神戸、長崎からの参加者4人を含む40人の信徒が参加した。 《1日目》名古屋駅から新幹線で新山口駅へ。昼食後、山口市内の山口ザビエル記念聖堂(主任司祭・百瀬文晃神父)でミサが行われ、松浦司教が共同司式した。説教で松浦司教は、「厳しい迫害の中、何人も人が改宗し、逃げ出した。しかし、耐えたか、耐えなかったかというのではなく、キリストを信じ、揺れながら倒れながら、背を向けながら、立ち上がろうとして生き続けた。その神と共に生きる生き方に、私たちはもつと目を向けなければいけない」と示唆した。 ミサ後、百瀬神父は、フランシスコ・ザビエルや21年前に再建されたイタリア仕込みの斬新なデザイン

の記念聖堂について詳細な説明後記念館を案内。ここには、ザビエルの生書簡やザビエルの宣教の様子を描いた屏風、キリシタンの墓石などが展示してあった。 巡礼初日の感想を自己紹介も兼ねて、分かち合いながら宿泊先へ。 《2日目》「第68回乙女峠まつり」に参加。津和野教会前広場で前田万葉枢機卿(大阪大司教区)の開始の言葉に続き、津和野町長や白浜満司教(広島司教区)の歓迎のあいさつに続き快晴の空のもと、津和野教会から乙女峠マリア聖堂まで40分ほどかけて、ロザリオの祈りを唱えたり聖歌を歌ったりして聖母行列をした。 乙女峠マリア聖堂到着後、37人の殉教者の列聖を祈願して「津和野の証し人の列聖調査開始宣言ミサ」が行われた。前田万葉枢機卿が主司式、教皇庁大使代理参事官のヴェネチエスラ・トゥミル神父列席のもと、8人の司教と40人の司祭の共同司式。主催はカトリック津和野教会(主任・山根敏身神父)。広島教区をはじめ、長崎、大阪、京都、名古屋など全国から約1800人が参列した。 幕末から明治新政府のもとで起こった「浦上四番崩れ」と言われるキリシタン弾圧で、長崎浦上のキリシタンおおよそ3400人が、鹿児島、萩、名古屋、金沢など22か所に配流された。津和野に連れてこられたのは153人。津和野藩は神道教化でキリシタンの改宗を図ったが思うようにいかず、三尺竿や氷責めなどの拷問に方針を変えた。 その結果、1歳から71歳まで37人が命を落とし、乙女峠の道行1留(とび)にビンイ袋の運び人を替えて唱えた。 ミサ後、名古屋教区巡礼団は帰りの山道で「十字架の道行」を行った。 松浦司教の発案で、皆の弁当ゴミを集めたビンイ袋を十字架に見立て、足場の悪い道を、十字架の道行1留(とび)にビンイ袋の運び人を替えて唱えた。 ミサ後、名古屋教区巡礼団は帰りの山道で「十字架の道行」を行った。 松浦司教の発案で、皆の弁当ゴミを集めたビンイ袋を十字架に見立て、足場の悪い道を、十字架の道行1留(とび)にビンイ袋の運び人を替えて唱えた。



巡礼団の一行



キリシタン至福の里・福栄で記念撮影

聖香油ミサ

キリストのパン種となって人々の 声に耳を傾け 福音を告げてゆく

復活祭前の聖なる三日 悟郎司教と名古屋教区各
間が始まる前日の4月17 地から集まった50人の司
日、聖香油ミサが名古屋 祭との共同司式で捧げら
教区カテドラル布池教会 れ、平日にもかかわらず
大聖堂で行われた。松浦 多くの信徒も参列した。



聖香油ミサで、洗礼や堅信など主に秘跡の執行で用いる香油の聖別と、病者への塗油と洗礼志願者への塗油のために用いるそれぞれの油の祝福が行われ、そして、司教と司祭団の一致の中

で司祭職の更新が行われ
た。
松浦司教は説教で、初めに司祭団に向かって、「私たちは司祭として呼ばれたが、必ずしも十分ではない。人間としての弱さを持っている。にもかかわらず私たちは喜んで司祭職を生きている。その根本には、イエスの問いかけがあったからだ。『あなたを愛しているか?』はい、主よ、私はあなたを愛します」と応えた時、私たちはイエスの歩まれた道をイエスと共に歩むことを決意した。司祭の約束の更新をする時に、もう一度、『はい、主よ、...』と応えたい」と提言をした。また、司祭職を生きているために、二つの声を聞かなくてはならないと論じた。「一つの声は、この世界を生きている人々の神を求める声」と呼びかけた。

「もう一つの声は、その後ろで語られる神の声である。人々の声に結ばれた神の呼びかけを聞かなければならない。そのために、丁寧に人々に接し、祈りの中で相手の心を聞かなければならない。そのためにも、生活の中の祈りの大切さをもう一度確認してほしい。」
次に信徒に向かつて、信徒一人ひとりにも同じ使命が託されていると述べ、「この世の中に出て行き、キリストのパン種となって人々の声に耳を傾け、その背後にいる神の声を傾け、福音を告げていく。司祭の更新を一緒にしてもらえれば」と呼びかけた。

多治見ログハウスで WYD in名古屋を開催

「自分の歩みを静かに振りかえり、 自分の生き方がどちらを向いているか、 その方向を見つめ、立ちかえること」

「WYD in名古屋」が多治見ログハウス研修センターで3月9日〜10日に行われ、松浦司教を含めて20人が集った。

今回の集いは、「わたしは主のはしたためです。お言葉とお祈り、この身になりますように」(ルカ1・38)をテーマとしておこなわれた。1月に開催されたWYDパナマ大会と同じテーマのもと、

大会に参加した青年たちが中心となってプログラムが進行された。まず、はじめにパナマ



また、夜はパナマ大会で教皇フランシスコが若者たちに向けて述べられたいくつかのメッセージを分かち合い、祈りを捧げ

2日目には、多治見修道院の敷地を歩きながら、十字架の道行きをおこない、個人黙想の時間なども設け、自分の歩みを静かに振り返った。また司教や司祭に、霊的相談やゆるしの秘跡をするなど各々に過ごした。

集いの最後には、派遣ミサが捧げられ、四旬節のはじめにあたって、松浦司教は説教の中で「具体的な罪や過ちから、自分の生き方がどちらを向いているか、その方向を見つめ、立ちかえること。そして、何度倒れても、どんなことがあっても、主に従って歩んで行くことが、イエスの弟子としての条件」と青年たちを励ました。

長崎・浦上キリシタン野外ミサ

永遠の生命がこの世の 生命よりも大切である



「浦上四番崩れ」と呼ばれ、明治初年に金沢に流された長崎・浦上キリシタンをしのび、堅固な信仰に倣う野外ミサが4



浦上キリシタン流配者のためのミサ

浦上キリシタンたちの犠牲のために祈ることは、私たちがまたその伝統につながることに

名古屋教区殉教者顕彰委員会主催による「浦上キリシタン流配者のためのミサ」が4月29日、主税町記念聖堂で行われ約60人が参列した。ミサは



祭叙階前の調査の結果、秀齊は井上家の長男であり、家を相続する人が他にいないことが判明し、司祭になることが許されず、東京を去った。その後、故郷に帰り、父の事業を手伝うかたわら、名古屋、岐阜、土岐、大垣、高須の講義所を巡回して伝教師(伝道師)として宣教活動を行った。

「1869年(明治2)浦上信徒の配流について」

名古屋藩での死亡者数は75人であった。名古屋藩への流配者は全体の2割。流配先20藩中6番目に多い数、と話した。

「名古屋の特徴」

「主税町教会と井上秀齊について」

信仰をつむぎ、信仰をつなぐ

《東海地区 一粒会の集い》

日時 6月30日(日) 14:00~16:30
場所 カトリック多治見教会
岐阜県多治見市緑ヶ丘38
第一部 講演
講師 和越 敏 神父 (カズコシビン神父)
(兵庫県西宮市カトリック仁川教会主任司祭)
(2017年3月まで瀬戸教会主任司祭=ビン神父)
演題 『イエスに従っていきたい理由は?』
「私は世の終わりまで、いつもあなた方とともにいる」
(マタイ28.20)
第二部 司教と共に捧げるミサ
問合せ 一粒会委員長 西村由美子
☎/FAX 0561-54-9754



カルメル修道会
土曜静修 in 名古屋

一日カルメル会士とともに過ごす聖母の土曜日
日時 6月1日、7月6日
いずれも土曜日。13:00~17:00
講話・黙想・ミサ・教会の祈りなど。
場所 カルメル修道会 日比野(本部)修道院
(カトリック日比野教会)
交通 地下鉄名港線 日比野駅下車 徒歩約8分
その他 参加の事前連絡は不要。直接お越し下さい。
当日は千円程度のご寄付をお願いします。
ゆるしの秘跡にあずかることができます。
問合せ 男子蹴足カルメル修道会 一日静修係
FAX 052-681-6445
E-mail hibino@carmel.or.jp

性虐待被害者のための
祈りと償いの日



性虐待被害者のための祈りと償いの集いが3月24日、カトリック福井教会聖堂で行われた。この集いは昨年続き2回目となる。松浦悟郎司教司式の主日ミサ後に行われ、約90人が共に祈りを捧げた。
はじめに担当司祭である岩崎一二三神父(聖心教会)が開会のあいさつを述べ、続いて「祈りと償いの日」のDVD鑑賞と教皇庁がこれまで取り組んできた経過の報告があった。歴代の教皇は性虐待に対し司祭職の停止等、常に厳しい態度を取ってきており、特にフランススコ現教皇は児童を守るための委員会を新設し、2016年には全世界の司教団に「祈りと償いの日」を設けるように通達を出した。日本の司教団としても、2002年に児童虐待に対してのメッセージを発表して以来、司祭のためのガイドラインや相談窓口を設け、その対応に取り組んでいる。2004年に行われたアンケート調査から、教会の中にも存在する性虐待の具体例がいくつか紹介され、事の重大さを痛感した。そして被害者は周りに相談しても無理解から逆に攻められたり、また自分の方にも落ち度があったのでは?と自分自身を責めてしまったり、自分さえ黙ってれば等々、二次被害の温床となっている現状が伝えられた。これらのアンケートを基にして被害者、特に子どもの権利を守るための小冊子が幾つか発行されている。教会が過去の過ちに真摯に向き合い新たな歩みを始める中で、司祭、修道者の初期養成と生涯養成に力を入れるだけでなく、教会共同体が一体となって全体の課題として、予防教育に取り組んでいかなければならない。
また名古屋教区ではセクシャルハラスメント対応委員会を立ち上げ、臨床心理士でもある小瀬木尚美委員長から、その活動内容の説明があった。この委員会が問題を把握し確認するが、それによつて乗り越えて行けるかとはとても難しく、第三者委員会を立ち上げたこと。そして司祭たち自身も問題を抱えていても相談したり、お互い話し合う場がないことから、司祭のための研修会、ティータイムの場、カウンセリングを始めたことが話された。
質疑応答では活発に意見が出され、外国人参加者のために急ぎ英語通訳も行われた。最後に「性虐待被害者のための祈り」を全員で唱え、神のゆるしを願った。
閉会のあいさつで松浦司教は「この問題は、救いであるはずの教会が傷をつけることを生んでしまった、とても悲しい問題です。今まで暗闇の中で苦しむ立場に置かれていた人たちの尊厳を取り戻すため、問題を明らかにし、強い決意を持って取り組んでいかなければならない。それしか道はない。司教、司祭のみでなく、教会共同体全体がこの意識を持つことによつて乗り越えて行けると思う」と話した。
名古屋教区のセクシャルハラスメント等の問い合わせは左記まで。
受付時間は平日の10:00~17:00
カトリック名古屋教区・セクシャルハラスメント対応委員会
小瀬木尚美(一般財団法人愛知総合H.E.A.R.センター)
☎080-1262514
681
e-mail: sh-nagoya@docomone.jp

福音化の歩みのために

東日本大震災・福島原発事故、災害支援の報告
「いのちの光3.15フクシマ」からのお礼状

先日は、「いのちの光3.15フクシマ」のため多大なるご支援を頂戴し、驚きと喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。
「いのちの光3.15フクシマ」は、2013年秋に立ち上げました。
2011年3月福島第一原発が巨大地震・津波のあと、3月15日までに次々と爆発を起こし、福島県はもとより周辺の都県まで放射能による汚染、被爆、避難指示区域が設定されていきました。
原町教会は、福島第一原発から約24kmの地にあります。原発に最も近いカトリック教会の一員として、「私たちは、このまま何もせずにいて良いのか?」というもどかしさ、東電・国に対しての怒りなどを抱えたままの状態で、名古屋から1年前に赴任された狩浦神父様のお力とご助言をいただき、原発が爆発した最後の「3月15日」を、今後の生き方の指針となるようしっかりと考えていこうという共通認識で「いのちの光3.15フクシマ」を立ち上げた。
活動資金は、全国の方々からの賛同金と献金で賄ってきました。皆様方からの支援で続けてこられたことを、心から感謝しております。
原発爆発事故から9年目になりますが、マスクなどの情報からは、復興という明るい発信ばかりが目立ち、加えて2020年のオリンピックが復興オリンピックだと位置づけ華やかに伝えられていくようです。しかしながら、現地に住む者の一人として、何ひとつ喜べるものがない、大変残念でなりません。
爆発した燃料の取り出しは、1gも行われておりません。一方では、放射能汚染土を、福島県の高速度道路工事に使用する計画が浮上したり、放射能汚染タンク(トリウムを含む)の水を海洋に放出しなければ廃炉が進まないとは脅しにも似た国や東電の強要があります。
勝治美喜子(原町教会)
2019.4.2

東日本大震災・福島原発事故、災害支援金の報告

★発災時よりカリタス福祉委員会へ振込された支援金のご報告
・2011.3.17(発災後募金開始)から
2019.3.31までの合計 30,849,069円
・2018年度1年間に振込ご協力いただいた金額 1,203,342円
小教区・個人(順不動、敬称略)
金沢教会(10回) 金沢教会・バザー実行委員会
布池教会、高蔵寺教会、一宮教会、岡崎教会、鳴海教会、春日井教会
吉村淳子
★2018年度上記支援金の振込先
カリタスジャパン・47万円
大阪教会管区(大船渡・南三陸)支援・20万円
いのちの光3.15フクシマ・11万円
福島被災地(狩浦神父活動)支援・20万円
(残金 223,342円は次年度へ繰越)
※いのちの光3.15フクシマ、狩浦神父様よりのお礼状 別途掲載
☆2019年4月 振込された支援金
2件 80,933円(振込手数料引き落とし後の金額)
振込ご協力いただいた小教区 春日井教会、金沢教会
★名古屋教区の支援金は
大阪教会管区震災復興支援プロジェクト、福島での原発被災支援活動されている団体を中心に支援しています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願いします。
・毎月の支援状況は名古屋教区報で報告。
・各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載。
http://caritasjapan.jugem.jp
支援金振込先
口座番号: 00820-5-137456
名義: カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会
※「東日本大震災・災害支援金」と募金の意向を記入願います
連絡・問合せ先
名古屋教区カリタス福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422

狩浦正義神父様からお礼の手紙

+主の平和
名古屋の市民活動の光として歩んでおられる方々に向けて祈りを致しました。皆様のいのちへのまなざしは、時のしるしであり、名古屋教区及び地域住民はもとより、日本国中の人々をいつも照らし、示してくださったことを感謝すると共に、大変うれしく思います。そしていつも東北仙台教区の被災地(者)への丁寧な心配りと暖かい支援に改めて感謝申し上げます。主の復活を共に祈りしながら、「新しい関わり方」を祈りたい。
狩浦正義神父(福島・いわき教会)
2019年4月

主にささげる
24時間~聖体礼拝

主税町記念聖堂では月に2回、聖体礼拝が行われています。開始時と終了時にミサが行われます。どうぞご参列ください。
日時 毎月第2・第4木曜日
木曜日19:00~金曜日19:00
場所 主税町記念聖堂
名古屋市東区主税町3-33
主催 カトリック名古屋教区
問合せ 名古屋教区本部事務局
☎052-935-2223
責任者 平田政信神父
携帯電話090-1623-1170

第10回
『あとから来る者のために』
原発勉強会

どなたでも、気軽にご参加ください。一緒に原発について考えましょう。
日時 6月15日(土) 13:30~15:00
場所 カトリック布池教会信徒会館3F
名古屋市東区葵1丁目12-23
参加費 200円
主催 次世代を考える会
問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360





6月の教会暦
 1日(土) 聖ユスチノ殉教者(記)
 2日(日) 主の昇天(祭)
 3日(月) 聖カロロ・ルワンガと同志殉教者(記)
 5日(水) 聖ボニファチオ司教殉教者(記)
 9日(日) 聖霊降臨の主日(祭)
 10日(月) 教会の母聖マリア(記)
 11日(火) 聖バルナバ使徒(記)
 13日(木) 聖アントニオ(パドバ)司祭(記)
 16日(日) 三位一体の主日(祭)
 21日(金) 聖アロイジオ・ゴンザガ修道者(記)
 23日(日) キリストの聖体(祭)
 24日(月) 聖ペトロ使徒座への献金
 28日(金) 洗礼者聖ヨハネの誕生(祭)
 29日(土) イエスの心(祭)
 30日(日) 聖ペトロ使徒(祭)
 7月の主な教会暦(主日・祭日など)
 7日(日) 年間第14主日
 14日(日) 年間第15主日
 21日(日) 年間第16主日
 28日(日) 年間第17主日

6月
 2日(日) 宣教師牧評議会*
 8日(土) 信徒使徒職大会*
 9日(日) 城北ブロック堅信式* / 教区中高生会
 11日(火) 樹の会
 13日(木) 松浦司教着座記念日 / 教区顧問会*
 15日(土) 信徒協役員会 / 共助連絡会

6月
 5日(水) 子どもと女性の権利擁護のためのデスク、難民移住移動者委員会、日本難民移住移動者委員会
 6日(木) 常任司教委員会、日本難民移住移動者委員会
 17日(月) 臨時常任司教委員会
 18日(火) 20日(木) 大阪教区管区司牧者研修会

総会 / レジオ名古屋クリア 黙想会
 16日(日) 大垣教会堅信式* / 愛岐B会議
 18日(火) カトリック看護協会例会
 23日(日) 安城教会堅信式*
 24日(月) 25日(火) 司祭研修会
 27日(木) 司祭評議会*
 29日(土) 濃尾B会議 / 典礼委員会
 30日(日) 多治見教会堅信式* / 一粒会の集い(多治見教会)*

7月
 5日(金) 6日(土) 教区事務所研修会
 7日(日) 敦賀教会堅信式* / 三河B会議 / 教区中高生会
 9日(火) 樹の会
 13日(土) 信徒協役員会
 14日(日) 城東B会議
 16日(火) 難民移住移動者委員会 / カトリック看護協会例会
 18日(木) 教区顧問会* / 月集*
 20日(土) レジオ名古屋クリア
 21日(日) 城北B会議 / 城南B会議
 27日(土) 教区会計研修 / 典礼委員会
 27日(土) 28日(日) 北陸B子供会合同サマーキャンプ*
 29日(月) 北陸ブロック司祭集会*

1日(月) 5日(金) 修女連養成者研修会
 6日(土) カトリック看護協会(聖霊病院)
 8日(月) 12日(金) 司教総会
 19日(金) 臨時常任司教委員会
 20日(土) 大阪教区管区対応委員会
 26日(金) カトリック幼稚園連盟ミサ

告知板
 福信館便り ☎052(935)7180
 ◇6月の炊き出し 木6日東山、13日布池、20日聖霊・南山、27日城北橋 金7日喜望の会、14日長浦、21日布池、28日南山

テレビ番組のお知らせ
こころの時代～宗教・人生～
 「いのちの海に網を降ろす」
 前田万葉枢機卿さんが出演します。
 チャンネル NHK Eテレ名古屋
 放送日 5月26日(日) 05:00～06:00
 再放送 6月1日(土) 13:00～14:00

訂正
 教区ニュース5月号6面第3次人事異動で城南ブロックの日比野教会・八熊教会主任司教が古川利夫でしたが、正しくは古川利雅でした。同5面の本多哲郎神父による聖書の勉強会は本田哲郎神父でした。訂正してお詫び致します。

建設費の返済に協力を

597件 29,223,990円
 目標額 40,000,000円 (4月末)

達成率 約73.0%

郵便振替 00810-5-50605
 加入者名 カトリック名古屋教区
 通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

『松浦司教様との集い』

日々の医療現場、看護、介護における体験や悩みを松浦司教様と分かち合いませんか?
 日時 7月6日(土) 13:30～15:30
 場所 聖霊病院4階 第一会議室
 対象 カトリック医療従事者、カトリックの精神を重んじた医療・看護に関心のある方
 主催 日本カトリック看護協会 名古屋支部
 申込み・問合せ
 E-mail jcna.nagoya@gmail.com
 JCNA 名古屋支部 鈴木光恵 ☎052-832-1181
 社会福祉法人聖霊会 カトリック社会事業室 シスター村木

「青年のための聖書の学び」6月16日(日)

テーマ：あなたは呼ばれている
 (イエスが人を選ぶ基準) マルコ1章

対象 青年男女(18～32歳)
 時間 14:00～19:50 (高校生は16:30まで)
 1:30～玄関を開けます、聖書「学び」、「個人の祈り」み言葉で感じたことの分かち合い、おやつ
 CHRISTUS VIVIT (教皇様の青年への手紙)、分かち合い
 共同体と共に祈りと食事をする
 ご聖体顕示、晩の祈り、夕食、食費は自由献金
 7:45～ 糾明、サルヴェ・レジーナ、終了
 基本的に毎月第3日曜日が「聖書の学び」の日です。
 FB 「青年のための聖書の学び」
 HP <http://www.concepcionistas.jp/>
 連絡先 ☎052-782-5850
 名古屋市千種区園山町1-56
 聖マリアの無原罪教育宣教師修道会
 担当者：シスター礎(いかり)政子

《 聖パウロ書院からのご案内 》

*** ロザリオの祈り ***

修道院のチャペルで、シスターたちと一緒に「ロザリオの祈り」をしませんか。
 どなたでも自由に参加できます。
 毎月第2日曜日14:00～(約40分)
 6月9日、7月14日、8月休み、9月8日、11月10日、12月8日。

*** 読書会 ***

図書『修道院の風』原造(はらつくる)著
 毎月第3土曜日14:00～15:30分
 6月15日、7月20日、8月休み、9月21日、10月19日、11月16日、12月は休み。

6月29日土曜日は、「聖パウロの祝日」のためお休みさせていただきます。
 聖パウロ書院
 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-2
 ☎052-936-4443

名古屋ダルク30周年記念イベント
 ～ボランティアから依存症治療共同体へ～

日時 6月23日(日) 9:45開場 9:45～16:30
 会場 ウィルあいち(名古屋市東区上堅杉町1)
 交通 地下鉄「市役所」駅2番出口より東へ徒歩約10分
 入場料 無料
 連絡 昼食、飲み物各自持参
 主催 NPO 法人名古屋ダルク
 問合せ・申し込み
 名古屋ダルク 名古屋市北区大曾根1-16-6 ☎/Fax 052-915-7284
 URL <http://www.nagoyadarc.jp> MAIL nagoyadarc@yahoo.co.jp

名古屋オルガンの秋プレゼント
パイプオルガンランチコンサート
真夏の夜の夢

“暑い夏には熱いポレロ、そして真夏の夜に見る夢と星空のロマンチックな音楽”
 日時 7月31日(水) 開場10:00 10:30～11:30
 会場 愛知県芸術劇場コンサートホール
 入場料 1,000円全自由席
 チケット 二宮音楽事務所、チケットぴあ、他
 演奏曲 メンデルスゾーン / 真夏の夜の夢より「結婚行進曲」ラベル「ポレロ」(四手連弾) 他
 Org 吉田文、オルガン第2奏者 / トーマス・マイヤー＝フィービッヒ
 主催 名古屋オルガンの秋実行委員会
 問合せ 二宮音楽事務所 ☎052-505-0151 mail@aya-yoshida.de

新刊書
梯子を降りる ～悲嘆からコミュニティへ
 ジャン・ヴァニエ / 著 宮永久人 / 訳
 出版社名 女子パウロ会 1,080円(税込価格)

ラルシュ・コミュニティの創立者であるジャン・ヴァニエが、障がいをもつ「なかま」たちから学んだ教訓を語る。多くの痛み、敵意、憎しみ、暴力、不平等、抑圧が存在するこの狂気の世界で、わたしたち個々にとっても、この世界にとっても、いのちと救いの源となりうるのは、弱く、拒絶され、底辺におかれ、役に立たないとみなされている人たちのだ、というのがわたしの信念なのです。(本文より)

ハーバード大学神学部での2つの講演を書籍化。ヘンリ・ノウエンのまえがき

女子パウロ会では、配信電子書籍も出ております。ぜひご覧ください!
 アドレス <https://shop-pauline.jp/>

《信徒使徒職大会》

テーマ 「ともに喜びをもって福音宣教を」
 日時 6月8日(土) 13:00～17:00
 会場 布池文化センター・コンコルディアホール
 講師 臨床心理士 小瀬木尚美理事長
 相生山徳林寺 高岡秀暢住職
 主催 名古屋教区信徒使徒職協議会
 連絡先 信徒協 ☎052-933-3435